

子どもたちに 元気と笑顔があふれる

市では、東日本大震災や原発事故の影響により生じた学習環境の変化に適切に対応するため、特色ある教育活動を支援する「田村っ子の元気を支援する事業」を進めています。
今回は、27年度に行った市内16小学校の取り組みを紹介します。

菅谷小学校



「ライオンだ!」「トラだ!」1、3年生は「那須サファリパーク」のツアーと一緒に体験。雨模様にもかかわらず、笑顔で動物と触れ合いました。
4、6年生は、小学校統合に向けて、各学年ごとに滝根小・広瀬小との宿泊学習などを行いました。幼稚園以来の友達と2日間共同生活をしたことで、新年度への期待を高めました。

広瀬小学校



広瀬小としては閉校の年。児童や保護者から希望が多かった「キッズニア東京」で、全校生が6月に体験学習を行いました。帰りのバスの中で体験発表をしたところ、一人一人が貴重な体験をしたことが分かりました。
9月には福島大学の岡田先生による科学教室を行い、科学遊びを通して自然の不思議さを満喫しました。
12月にはスケート教室を行う予定です。

大越小学校



5、6年生は、夏に「那須ハイランドパーク」に出かけ、魚釣り体験やさまざまなアトラクションを楽しみました。1、2年生は、秋に小名浜方面に出かけ、「アクアマリンふくしま」の見学やデイクルーズ体験に歓声を響かせました。どちらも仲間意識を育てたり、見聞を広めたりすることができました。
3、4年生は、冬に行うスケート体験を心待ちにしています。

滝根小学校



1、4年生が、1、2年生と3、4年生に分かれて「アクアマリンふくしま」に行きました。今年で3年連続となります。
さまざまな魚を見て大はしゃぎの1年生に、2年生は、魚の説明を読んで優しく教えていました。
3、4年生は、福島県の潮目によって集まる魚の違いについて、メモを取りながら学習していました。毎年、新たな発見や気づきがあるようです。

古道小学校



7月7日、科学実験教室「アインシュタインラボ」のサイエンスショー「体感!南極ブリザード」が開かれ、全校生が観賞しました。水が氷になったり巨大な雲になったりするのを間近で見た児童は、水が温度によって劇的に形を変える様子に驚き、歓声を上げていました。
科学実験は約1時間行われ、児童は保護者と一緒に楽しく学ぶことができました。

岩井沢小学校



6月5日、昨年度に続いて、全校生が「キッズニア東京」へ行ってきました。
昨年度は、同じ場所を何度も行き来するなど動きに無駄がありませんでしたが、2回目の今年度は、各パビリオンの場所が頭に入っていたようで、効率よく体験でき、児童の成長を実感しました。
新幹線や電車の乗り降りもスムーズで、経験を積むことの大切さを感じています。

関本小学校



6月11日、「ドルフィンマジックカンパニー」のマジックショーを全校生で鑑賞しました。ハンカチ、花、ハトが次々と出てくるマジックや、トランプのマジック、人が空中に浮かぶマジック、箱の中で人が入れ替わるマジックなどが披露されると、児童から大きな歓声が上がっていました。
児童は、驚きながらも楽しい時間を過ごしました。

常葉小学校



7月16日、全校生で「キッズニア東京」に行ってきました。パビリオンの混み具合を見てアトラクションの予約をしたり、銀行で模擬貨幣を出し入れしたり、ピザ・ハンバーガーショップで調理した食べ物を食べたりと、児童は夢の国でさまざまな職業体験を満喫しました。児童からは「また行ってみたい」という声が多く聞かれ、思い出さずして心に深く刻まれたようです。

西向小学校



10月5日、落語家で人権活動家の切磋亭琢磨さんによる落語&講演「笑って考えよう身近な人権」を、全校生で聴講しました。一人でも演じる落語、その絶妙な話の展開に児童も大爆笑。
一転して「命・相手を思う気持ち」の話には、児童はみな、ほろりとさせられました。
人権について学びながら、笑いと感じて心が癒されるひとときとなったようです。

芦沢小学校



10月23日、「あしっこドキドキ体験活動」として、1、3年生は「スパリゾートハワイアンズ」に、4、6年生は「キッズニア東京」に行きました。ハワイアンズでは、温水プールで泳いだり、滑り台を滑ったりして、存分に体を動かすことができました。キッズニアでは、さまざまな職業を疑似体験し、将来への希望を膨らませました。児童の笑顔が印象的な一日でした。